

地域防災、にぎわい創出の拠点に！ 生まれ変わった熊本競輪場の魅力を紹介

熊本地震により、メインスタンドやバンクなどに大きな被害を受けた熊本競輪場。

再建工事に一区切りがつき、今年7月20日からレースを再開することになりました。

そこで今回は、意外と知られていない熊本競輪場の魅力や、生まれ変わった施設のさまざまな機能・設備を紹介します。

熊本競輪場の完成予定図



熊本地震直後の様子

平成28(2016)年の熊本地震では、メインスタンドの天井崩落や、支柱の破損、大型ガラススクリーンの崩落のほか、競走路(バンク)に亀裂が入るなど大きな被害を受けました。その後、令和2(2020)年に有識者による懇談会を開催し、再建について検証。翌年再建の方針を示し、整備を進めてきました。



サイドスタンド



バンク

地域防災の拠点として整備します！

熊本地震の際、車で避難してこられた地域住民を受け入れた経験を踏まえ、災害時には駐車場を開放するほか、施設内に非常食を備蓄するスペースを設けるなど、地域住民の防災拠点として利用できるよう令和7(2025)年度中に整備します。

写真は、熊本地震後に日本競輪選手会熊本支部の皆さんで結成された「競輪震災支援チーム」が行ったボランティア活動の様子。全国の競輪場を通して支援物資が届き、被災者のもとに届けられました。



売り上げの一部を市民生活に還元しています！

これまで本市では、競輪事業会計から一般会計に対し収益の一部を繰り出して(拠出して)おり、昭和25(1950)年度から令和4(2022)年度までに一般会計に計上された繰出金の累計額は、約676億円にのぼります。

競輪事業の収益は、一般会計に繰り出すことで、さまざまな市民サービスを充実させるための貴重な財源として活用されています。

※令和2年度以降の繰出金(令和2年度:1億円、令和3年度:2億円、令和4年度:2億円)

